

第5期 栄養カウンセリング研修 開催報告

～栄養相談専門士制度と栄養カウンセリング研修～

急速に高齢化と生産人口の減少が進む我が国においては、健康寿命の延伸、医療費・介護費の縮減に向けた施策の展開が、重要な課題となっている。そしてその解決に向け、医療専門職種である管理栄養士の行動に大きな期待が寄せられている。

当協会ではこの課題に真正面から取り込むべく、2011年に研究分科会を立ち上げ、管理栄養士へのアンケートや医師へのヒヤリングを実施し、浮かび上がってきた様々な課題について検討を重ねてきた。その集大成として生まれたのが「栄養相談専門士」制度であり、その養成プログラムの「栄養カウンセリング研修」である。

「栄養カウンセリング」研修の特長は、延べ3か月に及ぶ集合研修（5日間）と2回の通信指導の組み合わせにより、従来型の座学研修は3割程度とし、7割を受講者自らが参加する実践訓練を重視した点にある。研修プログラムでは実際に模擬患者が登場し、生活習慣病を抱える患者に対し、どのような栄養診断・栄養治療を進めていくのか、コミュニケーションの取り方についても実例を通じて学べる内容だ。この研修を通じ、人間栄養学の真の実践者として、次代の後輩を指導出来る管理栄養士の育成を目指す。国民の負託に自信を持って応えられる管理栄養士を養成し、あわせて当協会は全国に「栄養相談専門士」のネットワークを作り、管理栄養士の社会的地位の向上と職域の拡大を目指していく。

本年度、「第5期栄養カウンセリング研修」は名古屋会場にて管理栄養士33名の参加のもと開催した。

【講師】

早川 麻理子 先生 / 坂本 宣弘 先生 / 多田 紀夫 先生 / 堀川 幸男 先生
飯野 靖彦 先生 / 前田 和久 先生 / 大和田 潔 先生 / 松島 照彦 先生
浅田 憲彦 先生 / 浅井 寿彦 先生 / 舘 佳彦 先生

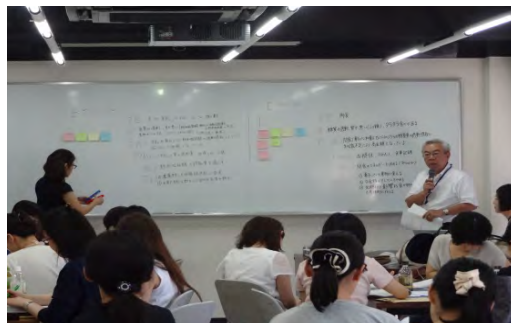
1日目【基礎能力】 2018年7月14日（土）

- オリエンテーション
- 症例から診る人体の評価 -病態生理と薬物療法-
- a. 消化器疾患 — 坂本宣弘先生 / b. 脂質異常症 — 多田紀夫先生
- c. 糖尿病 — 堀川幸男先生 / d. 慢性腎臓病 — 飯野靖彦先生
- e. 肥満と心臓病 — 前田和久先生 / f. 高血圧と脳血管疾患 — 大和田潔先生



2 日目【基礎能力】 2018 年 7 月 15 日 (日)

- 行動変容の実践と評価 -機能性食品における栄養処方の実際-
- 症例から診る食べ物の評価 ● 通信教育



3 日目【実践編：チューター対象】 2018 年 7 月 16 日 (月)

- 栄養カウンセリングの手順
- 栄養カウンセリング・コーチング技法 — 浅田憲彦先生
- 栄養カウンセリングの実践



4 日目【実践編：模擬患者 (SP) 対象】 2018 年 9 月 1 日 (土)

- 栄養カウンセリングの実践
- 症例報告 口頭試問



【5日目】 2018年9月2日（日）

●症例報告 口頭試問



次回、栄養カウンセリング研修開催日程は決定次第、ホームページに掲載いたします。

たくさんのご参加をお待ちしています。

～2018年度栄養カウンセリング・スキルアップ研修のご案内～

一般社団法人 日本臨床栄養協会では、栄養カウンセリング研修を修了し、「栄養相談専門士」の資格を取得されました方々を対象としたスキルアップ研修を開催しております。

本年度、『2018年度栄養カウンセリング・スキルアップ研修』は下記日程にて開催を予定しております。

■詳細・申込案内ページ (http://www.jcna.jp/jcna/seminar_skillup_20180920.html)

会 期：[東京会場] 2018年12月16日（日） 9：00～16：30
：[大阪会場] 2019年2月24日（日） 9：00～16：30
会 場：[東京会場] 東邦大学医療センター大橋病院内 新臨床講堂 【〒153-8515 東京都目黒区大橋 2-22-36】
[大阪会場] 大阪府社会福祉会館 【〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町 7 丁目 4-15】
募集人数：各会場 30 名（定員になり次第締め切らせていただきます）
募集対象：栄養相談専門士有資格者
受講料：8,000 円（事前入金制）
申込開始：2018 年 10 月から各会場受付開始
申込締切：[東京会場] 2018 年 12 月 2 日（日）まで / [大阪会場] 2019 年 2 月 10 日（日）まで
単位認定：栄養相談専門士更新単位 【10 単位】 *各会場参加につき
事前準備：現場における課題や悩み等を各自持ち寄っていただきます。

内 容：

- 「栄養相談専門士とともに学ぶ症例検討」（グループワーク）
- 「科学的根拠に基づく栄養カウンセリングの実践」
～適切な栄養診断による栄養カウンセリングの実践～（グループワーク）
- 「現場のデータをまとめて学会発表するために」他